

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年10月6(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【当社工具センターのトルクレンチ定期校正検査における精度逸脱について】 当社工具センターの貸出工具のうち、トルクレンチの定期校正検査の測定値が基準範囲を外れていることを確認。貸出実績を確認したところ5件あり、聞き取り確認により、いずれもボルトネジ取り付け後の締め付け確認のみであり、基準値精度逸脱による問題はなし。 今後、対象のトルクレンチを適正な精度へ調整し、再使用予定。</p>	GⅢ	10月4日
2	<p>【工所用機材の仮置き表示と実際に仮置きされている数量の相違について】 設備主管箇所が原子力運転検査官より、現場に掲示されている工所用機材仮置き表示と、実際の仮置き数量に相違があるとの指摘を受けた。 調査の結果、仮置きが表示が「ドラム缶 15缶」に対し、実際は「ドラム缶 86缶」となっており、工所用仮置き物品の管理が適切でなかったことが判明。 今後、原因調査および再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	9月30日
3	<p>【工所用機材の仮置き表示内容の誤りについて】 設備主管箇所が原子力運転検査官より、構内に設置しているコンテナ倉庫内の仮置き物品表示について、保管場所の相違および誤った内容物の指摘を受けた。 コンテナ倉庫の設置保管場所の誤認および仮置き物品の内容物を十分確認せず申請し、そのまま現場に掲示していたことが判明。 対策として、保管場所や実際の仮置き物品と照合した内容に改訂し、仮置き表示の貼り替えを実施済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	9月30日